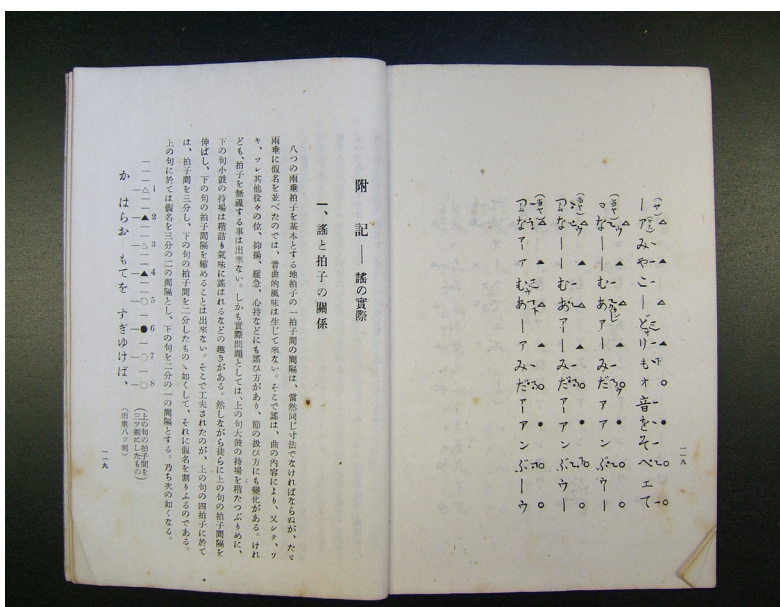
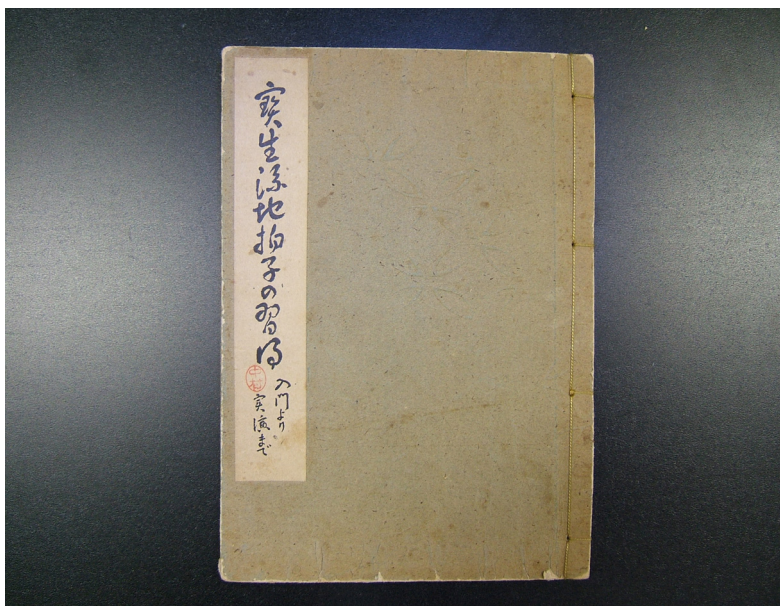


吉田魯洋 『宝生流地拍子の習得』

内容は『宝生流地拍子序之卷』（90頁）と同一。90頁では、謡本と八割を別々に掲載していたのに対し、本書ではそれを合体させて示し（写真下参照）、節約をはかっている。平ノリ、中ノリ、大ノリの後に、新たに「特殊の拍子所」の章を増補し、「サガリハ、小唄、笠ノ段、念仏」に触れている。写真下の左頁は、90頁でも触れた三分割フオーマットの紹介である。こういった紹介も「地拍子は一つの科学ですから、順序を踏んで習得しますならば、着々として容易に明瞭に理解することが出来る」という序の言葉に呼応する。



標題 内題：―

標題紙：宝生流地拍子の習得 入門より実演まで―

奥附：宝生流地拍子の習得

その他：宝生流地拍子の習得 入門より
実演まで（題簽）

著者 奥附：吉田魯洋

その他の場所：吉田魯洋（序・標題紙）

出版 版次：第一版

出版地：東京

出版社：わんや書店

出版年：昭和26（1951）

その他の場所：序 昭和26（1951）

形態 冊数：一冊 頁数：一二二頁

寸法：21×15（cm）

状態 写本版本の別：版本 現物複写の別：現物

備考 宝生九郎校閲。